

最新版

新型コロナウイルス感染症対策について

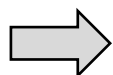
“with”コロナが進み、生活スタイルも少しずつ変化し、コロナ流行前の生活に戻りつつあります。

学校も基本的な感染症対策は継続しながら、より快適な環境の中で学習に励むことができるように工夫をしていきたいと思います！

引き続き検温表を活用して、体調管理を！



- ・37.5℃以上の発熱
- ・咳やのどの痛み
- ・強いだるさ
- ・息苦しさ



自宅で休養をしましょう

※37.5℃以上の発熱の場合、出席停止となりますが、新型コロナウイルス感染症が未だ流行中のため、発熱があった日に病院へ受診してください。受診の結果により、感染症ではないと診断された場合は、翌日からの欠席は病欠扱いとなります。

新型コロナワクチンについて



3回目の接種が進んでいます。改めて、副反応での欠席の扱いについて説明します。

副反応による、発熱・強いだるさ（倦怠感）など学校生活に支障の出る症状がある場合



出席停止

* 副反応は個人差があるため出席停止の期間は要相談となります

副反応によるほとんどの症状は3日以内に回復すると言われています。そのため、2日経っても症状が回復しない場合は、副作用ではなく病気の可能性もあるため医療機関へ相談をお願いします。

マスクの着用について

マスクの着用について、一部緩和となりました。これから暑い季節になるため、熱中症予防を優先し、マスク着用の判断をしてください。

○登下校中



熱中症のリスクが高い時（気温や湿度、暑さ指数が高い日）は、マスクを外しても良い。



公共交通機関（バス・電車）を利用するときは、着用する。

○体育の授業中・熱中症のなりやすい環境での授業中



活動場所が屋内・屋外のどちらであっても、熱中症対策のため、マスクの着用は求めない。

○部活動

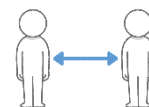


各競技団体が作成するガイドライン等を踏まえて実施する。熱中症のリスクが高い日の活動中はマスク着用を求めない。



更衣室内や集団で移動する場合など、密集・密接・密閉が起こりやすい環境下ではマスクを着用する。

* マスクを着用していない時は以下の2点を必ず守ってください



◎身体的距離を確保すること

◎友人との会話は控えること

※友人と向かい合って会話をするときは、必ずマスクを着用する